

キャベツ ハクサイ リーフレタスの作り方

種まき・育苗

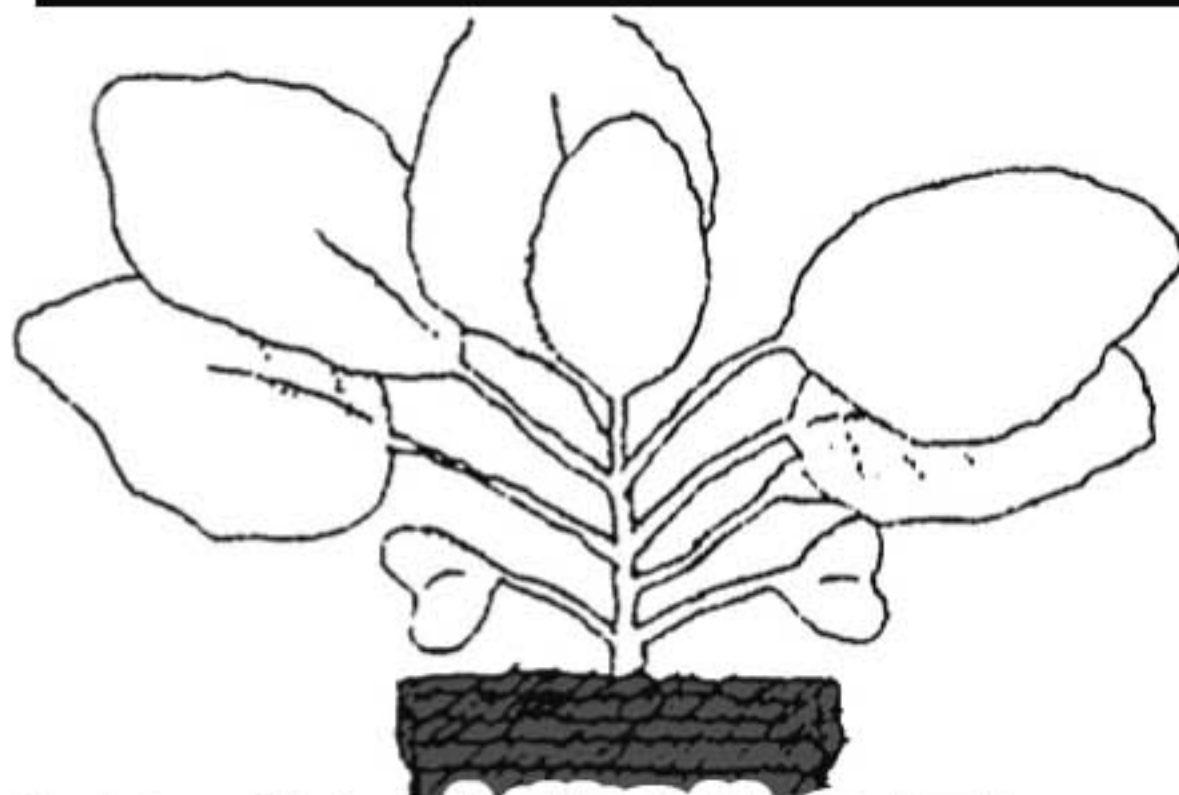
72穴セルトレイに種子を1粒ずつまいて約20日間、本葉3～4枚まで育苗します。

72穴
セルトレイ



軽く覆土を行い、乾燥しないようかん水します。

ハクサイの育苗



ハクサイは、本葉2枚の頃にポリ鉢に移植し、本葉5～6枚になってから植えます。

菜園カレンダー

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
冬キャベツ	○	●	△							
春キャベツ		○	●	△						
ハクサイ	○	○	●	△						
リーフレタス	○	○	●							

○種まき ●植えつけ △追肥 ■収穫期

種まき・育苗

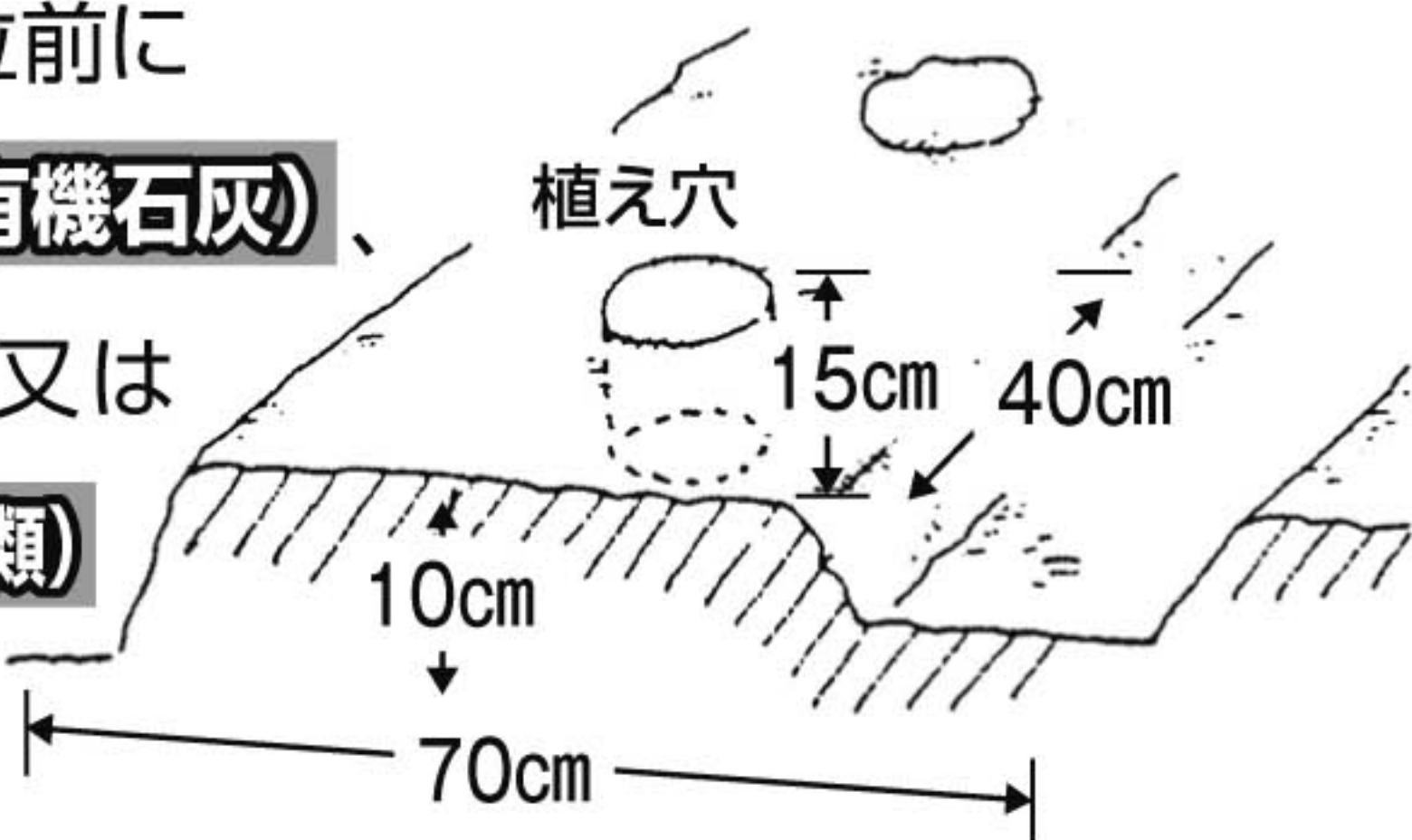
植えつけ1週間位前に

JA天然貝化石(有機石灰)、

JA葉育て肥料 又は

JAこだわり肥料(葉菜類)

を施して耕起しておきます。



施肥基準 (10㎡)

元肥
(kg)

追肥
(kg)

キャベツ

JA臭いの少ない牛ふんたい肥

20

JA天然貝化石(有機石灰)

2

JA葉育て肥料がJAこだわり肥料(葉菜類)

2.5

1.5

ハクサイ

JA臭いの少ない牛ふんたい肥

40

JA天然貝化石(有機石灰)

1

JA葉育て肥料がJAこだわり肥料(葉菜類)

2.5

1.5

リーフレタス

JA臭いの少ない牛ふんたい肥

20

JA天然貝化石(有機石灰)

1

JA葉育て肥料がJAこだわり肥料(葉菜類)

2.5

病害虫対策

キャベツ

植えつけ時

植えつけ時の苗は、やわらかく、害虫の被害を受けやすいので、害虫の発生には注意しましょう。

生育期間中

秋に雨が多いと葉の縁から枯れてくる病気が発生しやすくなります。害虫・病気が発生した場合は、早めに店舗従業員にご相談下さい。

ハクサイ

植えつけ時

植えつけ時の苗は、やわらかく、害虫の被害を受けやすいので、害虫の発生には注意しましょう。

生育期間中

病気が発生した場合は発病株を早めに抜き取りましょう。害虫・病気が発生した場合は、早めに店舗従業員にご相談下さい。

リーフレタス

植えつけ時

植えつけ時に散布出来る農薬が少ないので店舗従業員にご相談下さい。

生育期間中

病気が発生した場合は発病株を早めに抜き取りましょう。害虫・病気が発生した場合は、早めに店舗従業員にご相談下さい。

※農薬の使用に当たっては使用方法を必ずお読み下さい。

キャベツ cabbage

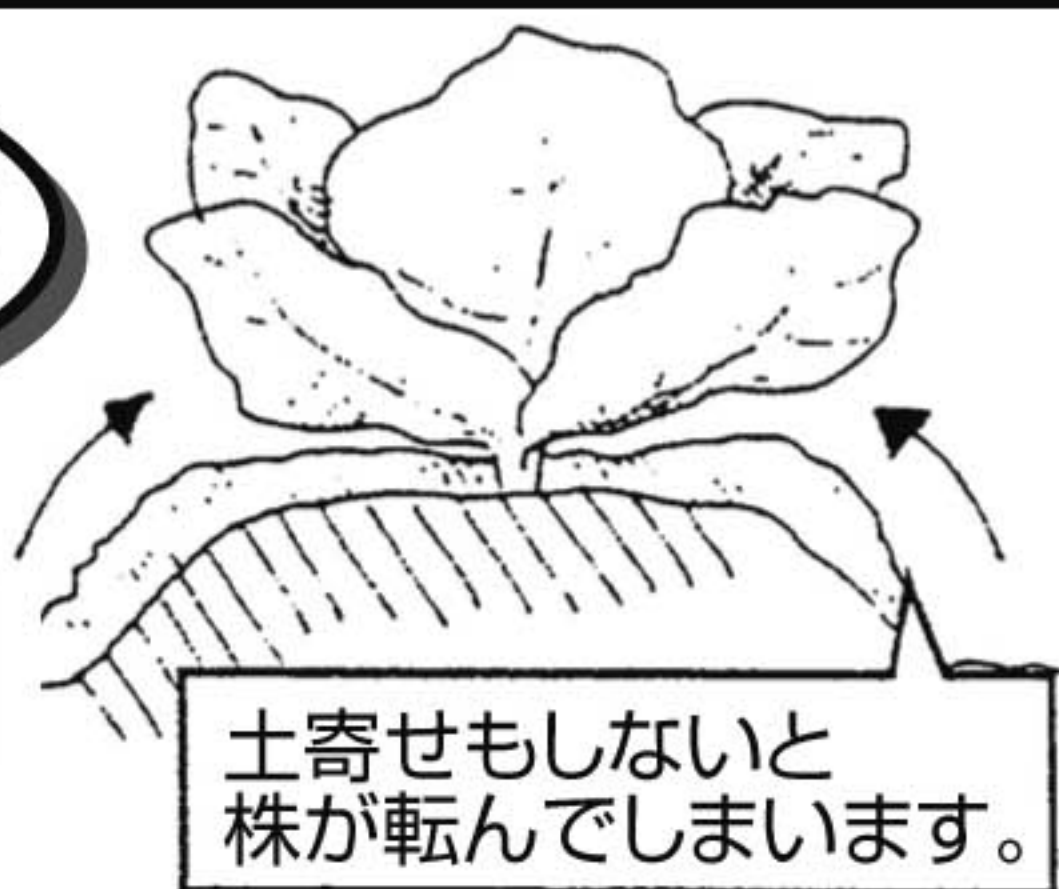
追肥・土寄せ

植えつけて1ヶ月後を目途に、

JAこだわり肥料(葉菜類) 又は **JA葉育て肥料** を1株当たり15～20g(※)追肥します。

(※大人の手で2つまみ程度)

この頃から肥料が効いてくるので必ず行います。外葉が大きくなると大きな玉になりません。

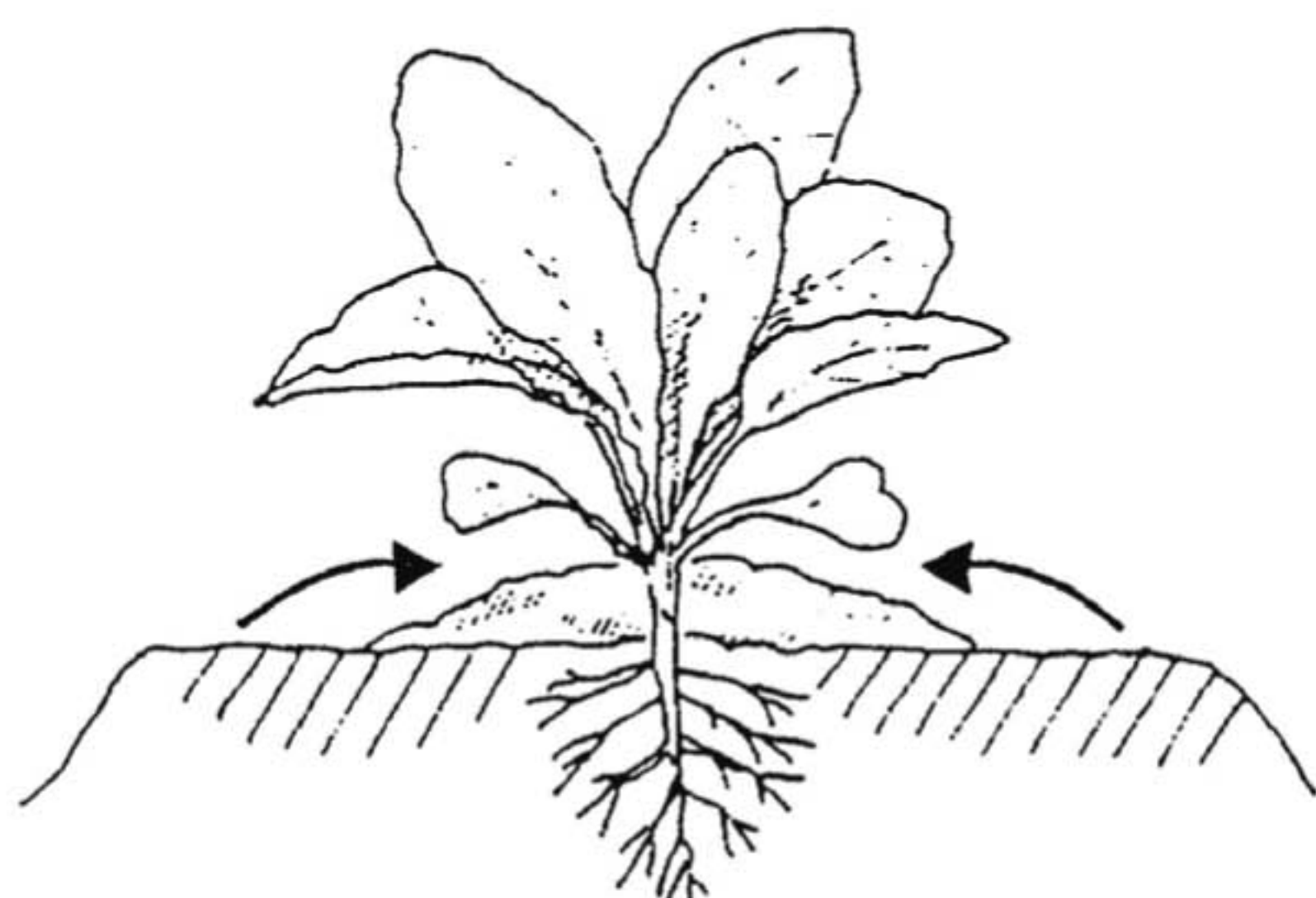


収穫

手で押さえて、固くなっているものから収穫します。固くなってから、長い間畑に置くと裂珠やとう立ちします。先がとがってきたら、とう立ちする株です。



ハクサイ chinese cabbage



追肥・土寄せ

結球し始めた頃、うねの肩、株と株との間に

JAこだわり肥料(葉菜類) 又は **JA葉育て肥料** を1株当たり20～30g(※)追肥します。

(※大人の手で2～3つまみ程度)

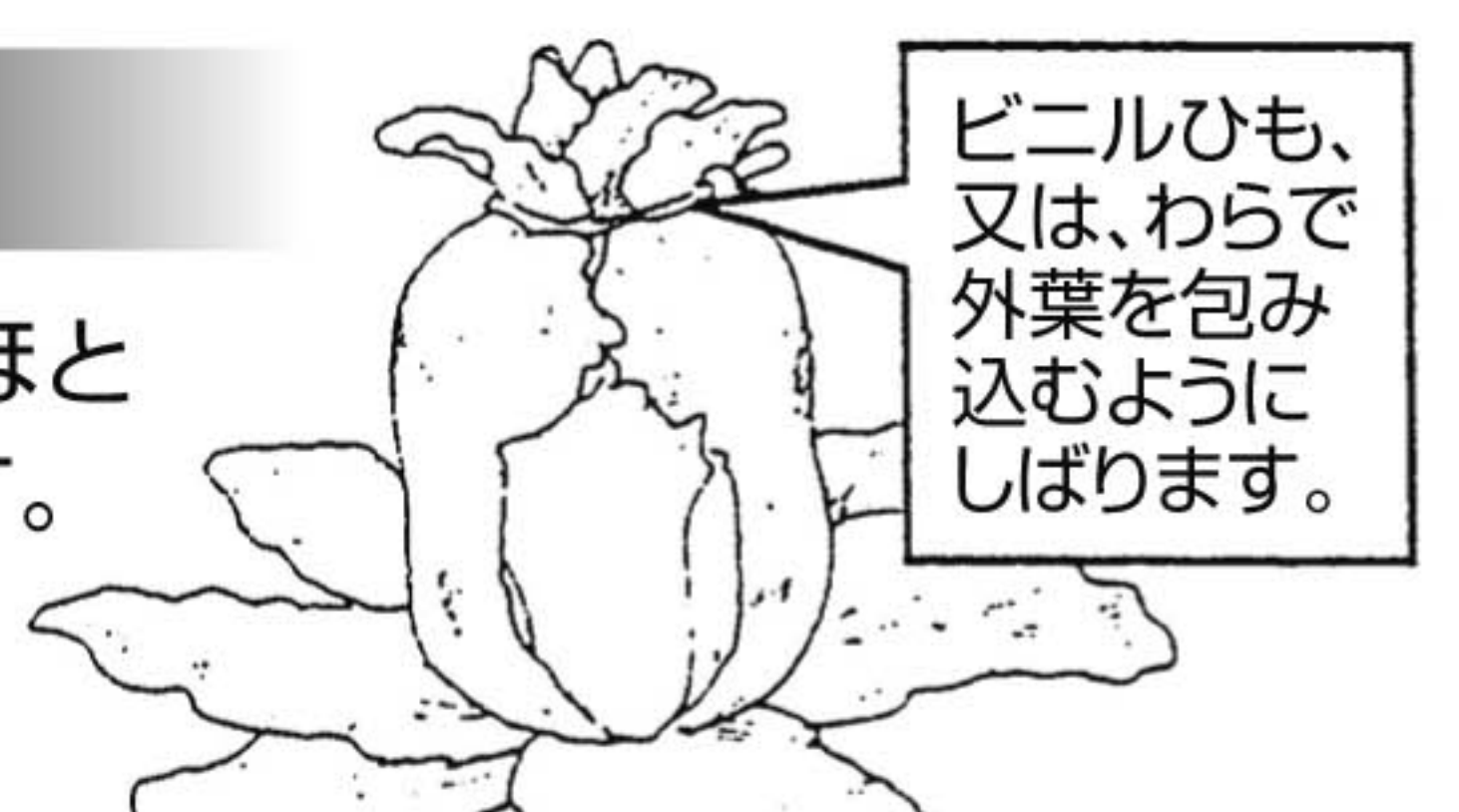
追肥とあわせて、株がふらつかないように株元へ土寄せを行います。

防寒対策

霜の被害を受けないように、ほとんど結球が終わった頃行います。

収穫時期

手のひらで押さえて、固くしまった感じであれば収穫します。



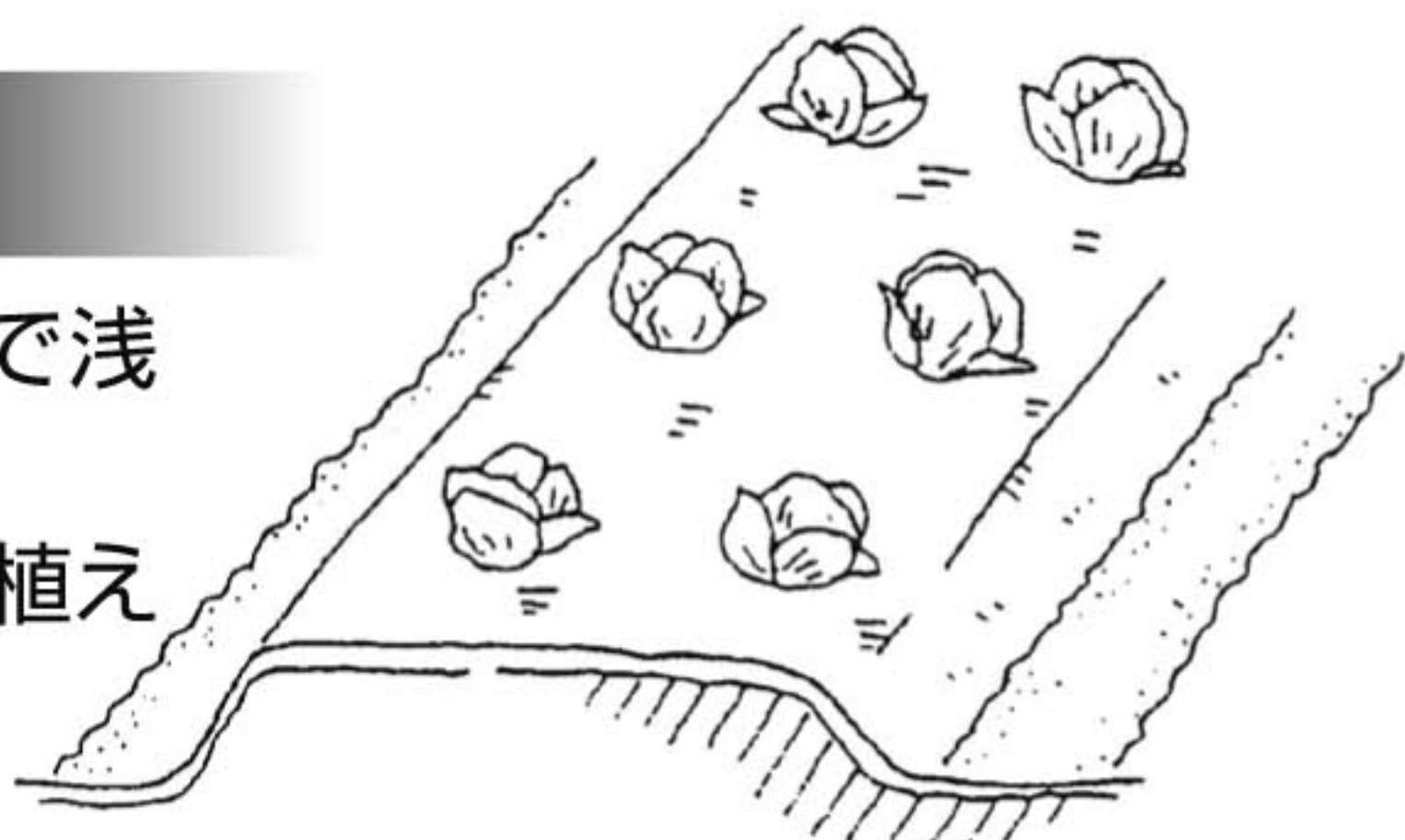
リーフレタス leaf lettuce

ポイント

黒ポリマルチをすると、保温・雑草防除とともに生育促進することができます。

植えつけ

株間30cm、条間40cmで浅植えます。水をたっぷりやってから植えつけをします。



収穫時期

種まきから60～70日後、葉が10～15枚になったら、収穫適期で株ごと収穫できます。

防寒対策

冬も収穫するためには、11月にビニールトンネルで保温します。

※ビニールトンネル資材は店舗従業員にお問い合わせ下さい。



おすすめ忌避剤

ミラクルバイオ肥料

菜園ニーム粉末タイプ

ミラクルバイオ肥料とニーム粉末を植物のまわりに囲むように敷きつめます。



菜園ニームスプレー

こまめに植物に直接スプレーします。

